LOOKING AHEAD WITH NEW TECHNOLOGIES

平成21年10月23日

各 位

会 社 名 東京応化工業株式会社 代表者名 取締役社長 中村洋一 コード番号 4186 (東証第一部) 問合せ先 広報部長 赤間 廣 TEL. 044-435-3000

業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年5月12日に公表いたしました平成22年3月期第2四半期累計期間の業績予想を下記のと おり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期第2四半期累計期間業績予想数値の修正(平成21年4月1日~平成21年9月30日)

(1) 連結 (単位:百万円)

(1 = 1 = 7.1)							
	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益		
前回発表予想(A) (平成21年5月12日発表)	29, 900	△3, 200	△3, 000	△2,000	△44円43銭		
今回修正予想(B)	32, 500	△800	△750	△700	△15円55銭		
増減額(B-A)	2, 600	2, 400	2, 250	1, 300			
増減率(%)	8. 7		_		_		
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	49, 240	3, 145	3, 382	945	20円56銭		

(2) 個別 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成21年5月12日発表)	25, 800	△3, 800	△2, 900	△1,700	△37円77銭
今回修正予想(B)	28, 700	△1, 200	△550	△600	△13円33銭
増減額(B-A)	2, 900	2,600	2, 350	1, 100	_
増減率(%)	11. 2			_	_
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	41, 329	1, 534	2, 855	981	21円33銭

1/2

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間におけるエレクトロニクス業界は、各国政府の景気刺激策による需要拡大を背景に、生産稼働率の改善が見られました。このような状況の下、装置事業の売上高は期初計画を下回り苦戦を強いられたものの、材料事業の売上高が想定を超える水準で順調に推移した結果、当社および当社グループの売上高は前回発表の予想数値を上回る見通しであります。

また、利益面におきましても、装置事業では期初計画に比べ損失の拡大が見込まれますが、材料事業の売上高が計画以上に進捗したことや緊急収益対策および事業構造改革の実施によるコスト削減効果が寄与し、前回発表の予想数値より赤字幅は縮小する見通しであります。

なお、通期業績予想数値につきましては、現在精査中であり、第2四半期決算発表時(平成21年 11月5日予定)に公表いたします。

(ご注意)

上記の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた 判断に基づいております。したがいまして、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上